



# 健康な未来を子供たちに 手渡すために

企画:日本ペンクラブ環境委員会

9月27日(月) | 15:30—17:00

京王プラザホテル(新宿) 南館4F「錦」

JR新宿駅西口下車徒歩5分 / 京王線・小田急線・地下鉄(東京メトロ丸の内線・都営新宿線)  
新宿駅下車徒歩5分 / 都営大江戸線都庁前駅B1出口すぐ

入場無料  
開場30分前

## 概要

私たちの命を育む食と環境とは密接につながっている。しかし食卓と農業と食材の現場は遠くなり、実際にどう作られ、どんな材料が使われるのか、よくわからなくなっている。大量生産の食品がまたにあふれている。合理化された農業の現場ではいまだに多くの農薬や化学肥料が使用されている。

日常化した工業的に作られる簡易な食べ物は、子供たちの体をむしばみ、アレルギーや糖尿や肥満、そしてガンなど、深刻な問題を生んでいる。食糧は国境を越えて行きかい、どんな食べ物が口に

入っているのかさえ不確かだ。加工されおいしさをうたったコマースャリズムによって広がり、子供たちの健康を奪おうとしている。それは、いまやグローバルな問題となっている。

私たちは、足元の気付いたところから、活動をしなければならない。私たちは、立場は違うが共通の視点をもっている。それは、健康な食を未来の子供たちに手渡すことだ。

現場から発言をし行動に変えていく具体的な提案がでることだろう。

## 出演

ジャン=ポール・ジョー Jean Paul Jaud

国立ルイ・リュミエール大学卒業後、1979年より監督として多くのテレビ番組の制作を行う。1984年のCanal+ (フランスの大手ケーブル放送局)の設立当初より、主なスポーツ番組の制作と中継を担当し、スポーツ映像に革命をもたらす。92年には自身の制作会社J+B Sequencesを設立。『羊飼いの四季』(“Les quatre saisons du berger”)、『マレーヌとオレロンの四季』(“Quatre saisons entre Marennnes et Oleron”)など移りゆく四季の中で織り成される人々の暮らしを追ったドキュメンタリーを制作し、2004年自らが結腸ガンを患ったことを機会に、「食」という生きるための必須行為を取り巻く様々な事象を振り返り、「未来の食卓」を製作。



萩原知美 Satomi Hagiwara

1948年埼玉県生まれ。東京農業大学社会通信教育学部園芸科修了。1996年、(財)女性活動支援協会グリーン・ツーリズム養成講座を受講しドイツ、フランスへ視察研修。1997年4月より、小学生までの親子を持つ家族を対象に、田舎暮らし体験“かあちゃん塾「ファームイン・さぎ山」”を開講。農水省・教育ファーム研究会推進委員(2007年)、内閣府・食育推進室企業等食育活動検討会議委員(2008年)。「子ども農業体験活動コンクール2001」にて農林水産大臣賞を受賞。



幕内秀夫 Hideo Makuuchi

1953年茨城県生まれ。東京農業大学栄養学科卒業。管理栄養士。専門学校で栄養教育に携わるが、欧米模倣の教育に疑問をもち退職。以後、伝統食と健康に関わる研究をおこなう。現在、フーズ&ヘルス研究所代表。帯津三敬(おびつさんけい)病院において食事相談を担当。主な著書に『粗食のすすめ』(東洋経済新報社)、『じょうぶな子どもをつくる基本食』(講談社)、『夜中にチョコレートを食べる女性たち』(講談社)など多数。<http://www8.ocn.ne.jp/~f-and-h/>



金丸弘美 Hiromi Kanamaru (司会)

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト。執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、ワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開、公開授業、幼稚園から大学まで各学校での食の講師なども手がける。日本ペンクラブ会員環境委員会幹事。大学講師、政府委員等幅広く活動。



## 事前登録票

インターネット登録が便利です。「日本ペンクラブ」を検索し、該当項目から事前登録画面を開けます。

<http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>

ファックスの場合は、末尾にお名前とご連絡先のFAX番号等をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX 03-3508-1710 ※FAXによる申込期限:9月15日(水)

※プログラムごとに事前登録された方が優先です。登録希望者多数の場合は申込み順となります。定員に限りがありますので、確実にご入場いただくために、事前登録をおすすめいたします。※ご友人・家族などと一緒にファックス登録される場合は、この面をコピーし、お一人ずつご登録ください。

フリガナ

お名前

TEL

FAX